

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				規定された広さは確保している。
	②	職員配置数は適切であるか				規定された人数以上に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				入口から玄関までがスロープになっているが段差などがあるので検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか				支援会議を行い、計画・実行・評価を全体で行っている。
	⑤	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか				今までは実施していなかったため、今回から実施を始めた。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				会報やホームページはあるが、結果を公開などはしていないので今後していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				第三者評価は未実施なので検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				内部研修と外部研修を行っている。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				アセスメントの結果かと保護者のニーズから課題を見つけ、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				しばしば標準化されたアセスメントツールを使っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				職員会議で細やかな話し合いをしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				個々の発達や状況に合わせて見直しをしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				細やかに設定していないが、活動の内容を変えているところもある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか				個別支援とグループ活動、その都度適切な状況を考えている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				活動日には必ず行っている。司会をローテーションして意識を持って行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				終わりの会でその日の様子を話し合い、振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				活動の様子を親御さんに伝える記録をつけ、毎回印を押してもらっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				目標の達成についてモニタリングし、その都度修正している。

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				必要に応じて参加した。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				必要に応じて担当の先生と面談、電話でのやり取りをしている。保護者を通して支援計画等の提示をしている。
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				必要に応じて病院でのカンファレンスに参加した。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				保育・幼稚園・デイサービス連絡会に出席し、理解に努めている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				問い合わせに応じて、それまでの支援内容を提供している。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				市内のセンター的役割の期間の研修等を受けている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				子ども同士の交流はないので、今後の課題とする。
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか				参加するときもある。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				その日の様子を伝え、家庭や学校の様子を聞いている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				問題解決のスマールステップを提示し、家庭での子育てを支援している。
保護者等への説明責任等	29	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				入所時、お一人ずつ説明している。
	30	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				電話や面談にてその都度傾聴し、心理士の観点からも助言をしている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				今回から茶話会を始めた。また、保護者の待ち時間会話しやすく椅子を用意するなど環境を整備している。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				苦情受付係を作る等、苦情があった場合に備えて体制を整えている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				毎月の月便り、年に3回の会報を発行している。
	34	個人情報に十分注意しているか				十分に注意を払っている。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				利用時間後に、その都度配慮しながら保護者と会話している。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				法人として、地域に開いた形の行事を運営している。
	37	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				マニュアルはあるが、保護者への周知があまりできていない。

非常時等の対応	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				避難訓練を定期的に行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				虐待についての研修を行っている。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				その必要があれば、保護者に説明を行い計画書に記載をしていく。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				口頭で確認している。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				職員会議で事例を共有し、事例集を作成している。